

## NEWS RELEASE

---

### 一般路線バスの運賃改定を申請しました

---

近鉄バス株式会社（本社：大阪府東大阪市、取締役社長：渡壁伊智郎）は、本日7月12日（水）、国土交通省近畿運輸局に対し、一般路線バスの運賃改定を申請いたしました。

弊社の一般路線バスは、1997年（平成9年）1月以来、消費税率引き上げに伴う運賃改定を除き、約26年間運賃を据え置いてまいりました。この間、人口減少、少子高齢化等によってバスのご利用者が減少する中、利用者動向を踏まえた運行計画の見直しや、お客様サービス向上の取り組みなどを進めてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症流行に端を発したビジネスや授業のオンライン化など新しい生活様式が定着したことでバスご利用者の減少が加速しており、不断の経営努力をもってしても、これらによる収入減少を補うことは困難な状況です。

一方、深刻化する運転士不足に対応するための待遇改善および法定労働時間短縮化への対応として必要人員の確保に伴う人件費の増加や、燃料費の高騰など、バス事業を取り巻く環境は一層厳しくなっております。あわせて、車両の更新やEVバス等環境対策車両の導入、安全性・利便性向上のための継続的な投資を行っていく必要があります。このような状況を踏まえ、健全なバス事業運営を維持するとともに、将来にわたり公共交通としての使命を果たすため、今般、運賃改定の申請を行うこととしました。

何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

詳細は別紙のとおりです。

## I. 一般路線バスの運賃改定申請の概要

以下に記載の内容は、近畿運輸局へ申請したものであり、正式には認可後にお知らせいたします。

## 1. 申請日

2023年7月12日（水）

## 2. 改定実施日

2023年11月1日（水）予定

## 3. 改定対象エリア

大阪府内および信貴山上線

※ただし、大東市コミュニティバス、阪奈生駒線（一部の区間）、北野田線（多治井系統）、他社に運賃を調整しているエリアは除く

なお、阪急バスに運賃を調整しているエリアについては、後述のとおり同日付で別途申請いたします。

## 4. 運賃比較表 下表の実施運賃が改定後の運賃となります。

(1) 片道普通旅客運賃（一部区間においては、記載と異なる場合がございます。）

運賃制定形態		現行運賃	申請上限 運賃※1	実施運賃 ※2
特殊 区間制	半区	210円	260円	240円
	1区	230円	290円	270円
	2区	250円	310円	290円
	3区	290円	350円	330円
	4区	300円	370円	350円
	特4区	310円		
	5区	320円	390円	370円
	6区	340円	410円	390円
	特別初乗運賃	100円	120円	120円
対キロ 区間制	基準賃率	43円50銭	51円00銭	51円00銭
	初乗運賃	170円	200円	200円

※1 申請上限運賃：バス事業者の経営に必要な総括原価に応じて算出され、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限で、認可の対象になるものです。

※2 実施運賃：申請上限運賃の範囲内で実施する運賃額で、実際にお客様から収受する運賃額です。

(2) 通勤定期旅客運賃（1カ月）

運賃制定形態		紙式定期券（割引率26%）		スマホ定期券（割引率30%）	
		現行運賃	実施運賃	現行運賃	実施運賃
特殊区間制	半区	9,320円	10,660円	8,820円	10,080円
	1区	10,210円	11,990円	9,660円	11,340円
	2区	11,100円	12,880円	10,500円	12,180円
	3区	12,880円	14,650円	12,180円	13,860円
	4区	13,320円	15,540円	12,600円	14,700円
	5区	14,210円	16,430円	13,440円	15,540円
	6区	15,100円	17,320円	14,280円	16,380円
対キロ区間制	初乗運賃	7,550円	8,880円	7,140円	8,400円

※割引率は現行どおり

## (3) 通学定期旅客運賃（1カ月）

		紙式定期券（割引率 38%）		スマホ定期券（割引率 40%）	
		現行運賃	実施運賃	現行運賃	実施運賃
特殊区間制	半区	7,810 円	8,930 円	7,560 円	8,640 円
	1 区	8,560 円	10,040 円	8,280 円	9,720 円
	2 区	9,300 円	10,790 円	9,000 円	10,440 円
	3 区	10,790 円	12,280 円	10,440 円	11,880 円
	4 区	11,160 円	13,020 円	10,800 円	12,600 円
	5 区	11,900 円	13,760 円	11,520 円	13,320 円
	6 区	12,650 円	14,510 円	12,240 円	14,040 円
対キロ区間制	初乗運賃	6,320 円	7,440 円	6,120 円	7,200 円

※割引率は現行どおり

## (4) 主な区間の片道普通旅客運賃、通勤・通学定期旅客運賃

## ①紙式定期券

主な区間	普通運賃		通勤定期（1カ月）		通学定期（1カ月）	
	現行運賃	実施運賃	現行運賃	実施運賃	現行運賃	実施運賃
藤井寺駅前～羽曳が丘八丁目	250 円	290 円	11,100 円	12,880 円	9,300 円	10,790 円
藤井寺駅前～四天王寺大学	250 円	290 円	11,100 円	12,880 円	9,300 円	10,790 円
藤井寺駅～近鉄八尾駅前	300 円	350 円	13,320 円	15,540 円	11,160 円	13,020 円
東花園駅前～四条畷・住道駅前	320 円	370 円	14,210 円	16,430 円	11,900 円	13,760 円
東花園駅前～山本駅前	290 円	330 円	12,880 円	14,650 円	10,790 円	12,280 円
花園駅前～山本駅前	250 円	290 円	11,100 円	12,880 円	9,300 円	10,790 円

## ②スマホ定期券

主な区間	普通運賃		通勤定期（1カ月）		通学定期（1カ月）	
	現行運賃	実施運賃	現行運賃	実施運賃	現行運賃	実施運賃
藤井寺駅前～羽曳が丘八丁目	250 円	290 円	10,500 円	12,180 円	9,000 円	10,440 円
藤井寺駅前～四天王寺大学	250 円	290 円	10,500 円	12,180 円	9,000 円	10,440 円
藤井寺駅～近鉄八尾駅前	300 円	350 円	12,600 円	14,700 円	10,800 円	12,600 円
東花園駅前～四条畷・住道駅前	320 円	370 円	13,440 円	15,540 円	11,520 円	13,320 円
東花園駅前～山本駅前	290 円	330 円	12,180 円	13,860 円	10,440 円	11,880 円
花園駅前～山本駅前	250 円	290 円	10,500 円	12,180 円	9,000 円	10,440 円

## 5. 運賃の平均改定率

実施運賃：12.5%（申請上限運賃：18.3%）

## II. 茨木・摂津・吹田エリアにおける運賃改定

## 1. 申請理由

阪急バス株式会社が運賃改定を実施することにもない、同社の運賃に調整している、茨木・摂津・吹田エリアの運賃を改定いたします。

## 2. 申請日

2023年7月12日（水）

## 3. 改定実施日

2023年9月1日（金）（阪急バス株式会社の運賃改定実施予定日）

4. 運賃比較表 下表の実施運賃が改定後の運賃となります。

## (1) 片道普通旅客運賃

運賃制定形態	現行運賃	実施運賃
特殊区間制 茨木1区	220円	230円

## (2) 通勤定期旅客運賃（1カ月）

運賃制定形態	紙式定期券（割引率26%）		スマホ定期券（割引率30%）	
	現行運賃	実施運賃	現行運賃	実施運賃
特殊区間制 茨木1区	9,770円	10,210円	9,240円	9,660円

※割引率は現行どおり

## (3) 通学定期旅客運賃（1カ月）

運賃制定形態	紙式定期券（割引率26%）		スマホ定期券（割引率30%）	
	現行運賃	実施運賃	現行運賃	実施運賃
特殊区間制 茨木1区	8,180円	8,560円	7,920円	8,280円

※割引率は現行どおり

## III. 当社の取組み

当社では、経営理念である「安全を確保し、心のこもったサービスを提供し、地域の皆様から信頼される企業を目指します」に基づき、さまざまな取り組みを実施してまいりました。今後も、お客様の利便性を維持、向上させながら、安定的な輸送サービスの提供に取り組んでまいります。

## 1. 安全・安心に関する取組み

運転士に対しては、経験年数に応じた事故防止教習や外部機関による安全運転研修の実施、ドライバー異常時対応システム（EDSS）の導入、産業医の判断に基づいた脳ドック・SAS検査などの健康管理を行っています。また、運行管理者へ交通サポートマネージャ資格取得を推奨しており、各営業所での指導・教育に役立てています。また、車両に対しては、ノンステップバスの導入や全車両への車内抗菌加工を実施しております。

## 2. サービス向上の取組み

PiTaPaカード登録型割引の全線拡大、スマホ定期券「バスもり！」や定期券のWEB申込み・郵送サービスを開始しました。また、QRコードを活用したバス接近情報の提供、営業所の電話案内時間の延長（18時→20時）、障害者手帳アプリ「ミライロID」の取り扱いの開始などなどを行い、お客様への利便性向上を図っております。また、運転士に対しては、継続的な接客研修の実施、お客様の声に基づいた教育など、サービス意識の向上に努めています。

## 3. 地域の皆様と連携したバス利用促進の取組み

自治体からのご支援のもと、バス利用促進キャンペーンの実施のほか、地元小学校でのバリアフリー教室への協力、職場体験の受け入れ、各催事等でのPR活動により、バスの魅力発信・ファンづくりに努めています。

## 4. 環境配慮の取組み

継続的にアイドリングストップ運転に取り組むとともに、電気バスやハイブリッドバスを導入しており、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

以上